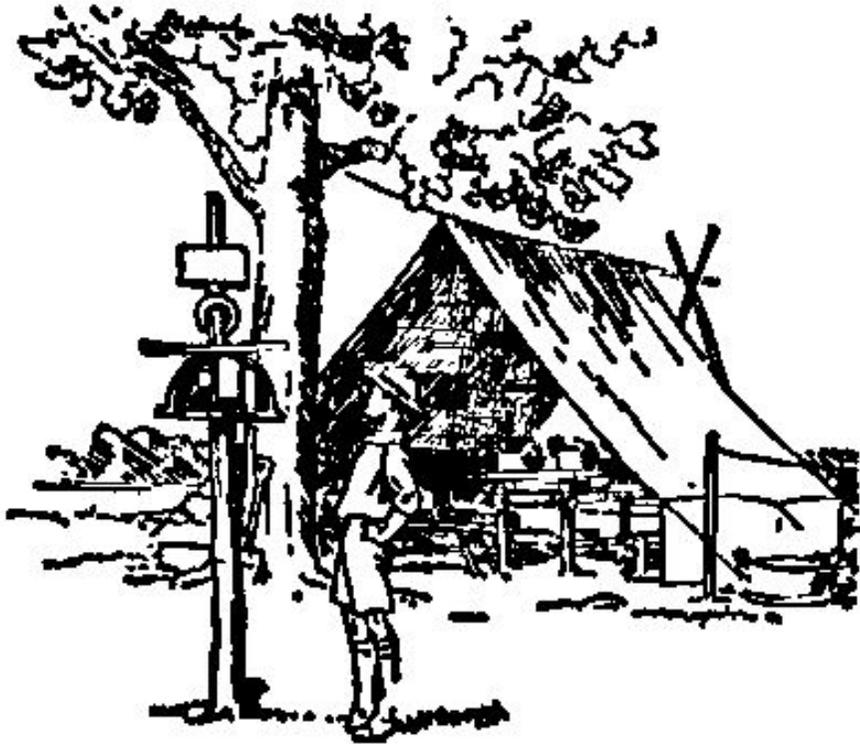


ホームステイ受入の手引き



プロジェクト名称 : 23WSJ ホームステイ浜松 (HOT23WSJ)

期 間 : H27. 7. 26 から 7. 28 ・ H27. 8. 8 から 8. 10

場 所 : 浜松市立青少年の家&ホストファミリー

日本ボーイスカウト 静岡県連盟
浜松連合協議会 2015. 4. 17 編集

①ホームステイとは？**

ホームステイとは？

外国人を自分の家庭に招いて宿泊させ、生活体験をしてもらうことを“ホームステイ”といいます。

また、ホームステイをする外国人を「ゲスト」といい、「ゲスト」を受け入れる家庭を「ホストファミリー」といいます。

ホームステイの目的は、ゲストが普段の家庭生活をホストファミリーと過ごすことにより、日本の家庭の真の姿を理解してもらおうと共にお互いの国の風俗・習慣に触れて、相互理解を深めることにあります。

② 受入れの準備と心構え

ゲストを迎える心構え

ホームステイは、日本人の普段の生活を外国人に知ってもらおうとするものだから、特別な扱いをする必要はありません。

あまり意気込まずに、各家庭のありのままの姿で受入れてください。

また、ホストファミリー全員が、ゲストを“心から受入れる”ことが大切です。

もし、家族の一人でも受入れに反対していると、その雰囲気が自然に伝わり、ゲストに不安や緊張を与えることになるでしょう。

ゲストにできる限りリラックスして滞在してもらうためにも、家族全員がゲストを歓迎する気持ちを持っていただくことが大切です。

言葉と語学力

ゲストを受入れる際、一番不安なのは、「言葉」の問題のようです。

英語（外国語）が話せないという理由で、ホームステイを引き受けられないと考える家庭も多いようです。

言葉が通じれば、お互いによく意思が通じ合い交流が深まるかもしれませんが、言葉がすべてではありません。

語学力に自信がなくても、身振り手振りや、絵を描きながらの筆談でも、心が通じ合い、交流を楽しむことはできます。

ゲストに自分の気持ちを伝えよう、ゲストの言っていることを理解しよう、という気持ちが一番大切なのではないのでしょうか。

費用の負担

ホームステイの受け入れに伴う費用の負担について、不安を感じるホストファミリーも多いようです。

基本的には食事と宿泊の提供はしますが、ゲストの滞在期中におけるすべての費用をホストファミリーが負担する必要はありません。

ゲストの個人的な支出、例えば、外出時の交通費、個人的な買い物、医療費等の費用はゲストの個人負担として問題ありません。

金銭のことは曖昧になりがちですので、最初に具体的に話し合うとともに、外出を計画する場合はどのくらい必要か事前に説明するなどして、ゲストが負担すべき費用についてルールを決めておくことが大切です。そうすれば、お互いに気まずい思いをしなくても済みます。

意思表示

日本人はよく曖昧な表現しかできない、といわれますが、世界中にはいろいろな人々が、それぞれの習慣で暮らしています。

ゲストでもはっきり自分の意見を言わない人もいますし、その反対に率直に言う人もいます。

ホームステイでは、違う生活習慣を持った人同士と一緒に生活するわけですから、不思議に思うことや理解できないことが出てくるかもしれませんが、その疑問をそのままにせず、何でも気さくに話し合うという姿勢が大切です。

③ 家庭への受入れ

ゲストとの出会い

初めてゲストと対面する時は、だれでも緊張するものですが、それは相手も同じです。

恥ずかしがらず、笑顔で明るくゲストを迎えましょう。

言葉は通じなくても、歓待の気持ちは伝わるはずです。あいさつをする時は、無理に慣れない外国式のあいさつをしなくても、握手やお辞儀で十分です。ゲストにとっては、日本式のあいさつに興味を抱く人も少なくありません。

また、片言でも相手の国の簡単なあいさつができると、相手にも喜ばれ、最初の緊張が少しほぐれるでしょう。

家族の紹介

外国人にとって日本人の名前は、一度聞いただけではなかなか覚えられません。自己紹介のときに紙に書いて渡してあげるとよいでしょう。また、家族の中での呼び名も教えてあげると、家族の一員になったような気持ちになり、お互いに親しみが増すでしょう。

自己紹介の時には、ひとりひとり自己紹介をしましょう。

短い期間でも家族の一員として一緒に暮らすわけですから、お互いに知っておきたいこと、知ってほしいことをはっきり伝えましょう。

趣味などの話をしたり、いろいろな質問をする中で、会話の糸口が見つかるかもしれません。

家族の習慣・ルールの説明

滞在中、お互いに気持ちよく過ごすため、家族の一員として生活を共にする上で、ゲストに知っておいてほしい習慣やルールなどがあれば、きちんと説明しましょう。ただ、あまり詳細な説明をすると、相手が負担に感じる場合もあります。

特に短いステイの場合は、これだけは守ってほしい、という最低限のルールを説明するくらいにとどめておくのがよいでしょう。

それぞれの異なる生活環境で暮らしてきた者同士が一緒に生活するのですから、強制するのではなくゲストの生活習慣も聞いたうえで、無理のない程度に協力をお願いするという姿勢が大切です。

風呂

・How to take Japanese style bath.

日本式の風呂の使い方は独特なので、最初にきちんと説明してあげましょう。浴槽のお湯は家族全員が体を温め、リラックスするためのもので、

① 湯から上がる時に栓を抜く必要がないこと。

・When you finish taking a bath, do not pull the stopper out.

② 体は浴槽の外で洗うこと。

・Do not wash your body in the bathtub. When you wash your body, please do it outside of the bathtub, or do so before you enter.

③ 日本人にとっては当たり前でも、外国人には馴染みのないことがたくさんあります。

言葉で伝えるのが難しい場合は、使い方を身振り手振りで見せるのもよいでしょう。

④ ゲストの中には、朝入浴するのを習慣にしている人もいます。だからといって無理にゲストに合わせる必要はありません。

⑤ 我が家での入浴の習慣を説明し、協力してもらいましょう。

トイレ

日本の家庭でも洋式のトイレが増えてきたようですが、和式のトイレでもまったく問題はありません。使い方さえ、きちんと説明すれば、逆に興味深く感じるゲストも少なくありません。

また、最近では洋式でもシャワートイレ（洗浄式トイレ）が増えてきています。外国の方には馴染みのないものですから、ボタンの操作など忘れずに説明してあげましょう。

寝 具

ベッドが無いからといって心配する必要はありません。布団に寝るのも、日本の生活習慣の一つとして体験してもらいましょう。家庭に余分の寝具がなければ、ゲストが持ってきた寝袋（シュラフ）を使ってもらってもいいのです。

布団に寝てもらう場合、

- ① 布団の敷き方やたたみ方、押入れへの上げ下ろしを最初に説明しながら見せてあげれば、次からは自分でやってもらってもよいでしょう。
- ② 昼は居間、夜は寝室と、一つの部屋を使い分ける日本の生活習慣に興味を持つゲストも多いようです。

食 事

食事はホームステイの大きな楽しみの一つでもあります。と言っても、特別な料理を用意する必要はありません。

- ① 普段の食事で十分です。家族全員で楽しく食事をするのが最大のおもてなしになります。
- ② 国の習慣や宗教、個人の体質や嗜好により食べないもの、食べられないもの（アレルギーなど）があります。この場合は、十分に注意して下さい。
日本の味にどうしても慣れない人もいますので無理強いしないでください。
- ③ 食べたいものを食べたい分だけ大皿から取ってもらうのもよいでしょう。
- ④ お好み焼きや鍋物、鉄板焼きなど、みんなで作りながら食べられる料理も楽しい団欒のひとつになります。
- ⑤ ゲストにお国の料理を作ってもらうのもよいでしょう。料理だけでなく、その食べ方を教えてもらうなど、言葉は通じなくても食を通じて気軽に異文化交流できるよい機会になります。
- ⑥ 準備、後片付けなどでお客様扱いすることはありません。本人が手伝うといえ、気軽に手伝っていただきましょう。成人でも男性の方でも気にすることはありません。

例えば、食器を並べるのは子供の役目という家庭のルールがあれば、一緒に手伝ってもらえるのも良いし、料理の作り方を説明しながら一緒に作るのもいいでしょう。

ちゃんと説明して何かを頼めば、失礼になりません。

参加させてもらうことで、家族の一員として認められているように感じ、喜ばれることもあります。

電 話

スカウトが連絡を必要とする時は、主に緊急の場合ですので下記の宿泊先へUK 隊指導者とHOT23WSJ 実行委員が常駐していますので電話を頂ければ対応を致します。

U K 隊 隊指導者(Part1) UK34 隊 Toby Taylor / トビー ティラー
(Part2) UK24 隊 Matthew Haynes/メシュー ヘインズ
HOT23WSJ 実行委員 今村春幸
佐藤 誠(Part1)
西村清矢(Part2)

担当者の連絡先は決まり次第にお知らせ致します。

場 所 浜松市立青少年の家
住 所 浜松市中区住吉 4 丁目 23-1
電話番号 053-471-4725

④ スケジュールづくり

ゲストを受入れる際に、多くのホストファミリーは「滞在中はどのように過ごしたらよいのか」、「どこかへ連れて行ってあげないといけないのか」等、不安を抱くこともあるでしょう。

限られた時間内に、いろいろな経験をさせてあげたいと計画を練る前に、いくつか注意しておきたいことがあります。基本的には、ゲストの立場に立ったスケジュール調整をすることが大切です。

「あれもしてあげたい」、「これもしてあげたい」、「あそこへ連れて行ってあげよう」と

一方的にスケジュールを詰め込もうとするのは考えものです。

ゲストの予定や意向を聞きながら一緒にプランを立てると、会話もはずみ、楽しいスケジュールが作れるでしょう。

病気やケガ

滞在期間中に、ゲストが病気になったり、ケガをした場合は、直ちにHOT23WSJ実行委員に相談してください。投薬などは、アレルギー等体質に合わないことがありますので慎重に対応してください。

医療費の支払い

万が一病気やけがをした場合には、UK 隊指導者と連絡が取れる連絡体制を整えています。

HOT23WSJ 実行委員は、常に「浜松市立青少年の家」待機していますので何でも結構ですので連絡を下さい。

場 所	浜松市立青少年の家
住 所	浜松市中区住吉 4 丁目 23-1
電話番号	053-471-4725

⑦お別れ

出発

出発時には忘れ物がないか、よく確認してください。

特に「パスポート」は必ず確認してください。

また、たとえ小さな物でも忘れ物があると、どう処理したら良いか困ったりするものです。

家を出る前にホストファミリーの方でも気をつけてあげることが大切です。

出発の当日は、早めに準備にかかり、集合場所へは時間の余裕を十分にみて到着するよう心がけてください。

おみやげ

日本ではお別れにおみやげを渡す習慣がありますが、外国の場合は国や個人によってさまざまです。

「原則的にはおみやげは必要ない」と考えてください。

家に招待し、一緒におしゃべりしただけで十分もてなしたことになるのです。ホストファミリーとの楽しい思い出がゲストにとって一番のおみやげになります。

どうしてもプレゼントをしたい場合は、安価で、かさばらず、持ち運びが便利で、壊れにくい物が良いでしょう。

皆で撮影した写真やゲストが滞在中に使用していた日用品、手作りの品などは、より心がこもった記念品となり喜ばれるでしょう。

ゲストの記録 ゲスト名 Name		
年齢	性別 男 女	国籍
滞在期間 年 月 日 () ~ 年 月 日 ()		
帰国先住所 Address		
メールアドレス E-mail Address		
ボーイスカウト所属		
今回の派遣プログラム名称		
写真 Photo ゲストとホストファミリーで撮った写真が一番のおみあげになりそうですね		

ホストファミリーの記録

ホストファミリー名 H o s t - N a m e ・スカウト名前 Name

住所 Address

家族名前

続柄

滞在期間

年 月 日 ～ 年 月 日

メールアドレス E-mail Address

ボーイスカウト所属

写真 Photo

ゲストとホストファミリーで撮った写真が一番の思い出かな！！！！